



「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されています。QRコードやパソコンで検索して、カラー写真付きの記事をご覧ください。

～中学生が水産高校の実習船で洋上体験～ かつお釣り体験アドベンチャー

「かつお釣り体験アドベンチャー」は、枕崎の伝統的な漁法である「かつおの一本釣り」が

体験できる、今年で30回目を数える中学生に人気の夏休み中の行事です。

鹿児島水産高校の協力で実習船「拓青（たくせい）」に乗り組み、枕崎港から外洋に出て屋久島の西隣の口永良部島近海で「かつお」を追って一本釣り漁を体験するという、まさに枕崎ならではの内容になっています。

洋上体験の本番前には事前研修を行い、「拓青」の乗組員の方から「船上での安全確保」の説明を受け、操舵室、機関室などの船内見学も行っています。

今年も事前研修を経て、市内の中学生7人が7月27日早朝に「拓青」に乗り組み、枕崎港を出港しました。今年は台風の影響で口永良部島近海まで行けず枕崎近海での漁となりました。

生徒たちは、船酔いと熱い日射しと戦いながら、魚釣りに取り組みました。残念ながら「かつお」を釣ることはできませんでしたが、アジやイサキ、マダイなど、30匹以上の釣果があり、夏休み中の貴重な体験になりました。



～琴と尺八の生演奏で七夕飾りと 読み聞かせ～ 桜山地区公民館

桜山地区公民館の青少年講座「七夕飾りと読み聞かせ」

が、6月26日に「琴聖会（きんしょうかい）」の方々の演奏と読み聞かせで、小学生9人が参加して行われました。

最初に子供たちが、折紙で作った七夕飾りや短冊を竹にくくり付けて七夕飾りを作り、読み聞かせの時には、かぐや姫の映像をスクリーンに映し出して、琴聖会の方々の琴と尺八の演奏をBGMにして、子供たちに読み聞かせを行いました。

琴聖会は、桜山地区公民館を拠点に活動する自主講座グループですが、生の琴と尺八の演奏と桜山の子供たちが作った七夕飾りのコラボで、幻想的でゴージャスな「七夕飾りと読み聞かせ」になりました。



～タブレットで探求活動と学習発表 「郷土についての学習」～ 立神中学校

立神中学校では1年生の総合の時間で「郷土についての学習」に取り組んでいます。

生徒たちは5月25日の講演と6月1日のフィールドワークを経て、3人ずつの班を作り、2クラス18の班でテーマを決めて探求活動に取り組みました。

7月6日と13日には、18の班による学習発表会が視聴覚室であり、生徒達が探求活動で資料をまとめたタブレットを使ってプロジェクターに映し出し、「黒島流れ」や「立神岩の伝説」「立神中学校の遺跡」などの発表を行いました。



国の「ギガスクール構想」で、枕崎市では市内の4小学校、4中学校の全児童・生徒に一人一台のタブレットが配置され、調べ学習や学習発表などに活用されています。

立神中1年生もタブレットを駆使して、インターネットで調べ学習を行い、「スライド」機能で文章を作り、写真を取り込んだりしてそれぞれの班が学習発表用の資料を作っていました。自分たちの郷土について、熱のこもった素晴らしい学習発表会になりました。

～水産高校で「枕崎の海の生き物のお話」～ 枕崎地区公民館

枕崎地区公民館の青少年講座「枕崎の海の生き物のお話」が、7月30日に鹿児島水産高校で行われ、小学生15人が参加しました。

例年夏休み中に枕崎地区館で行われる人気の講座ですが、今年はマイクロバスに乗って水産高校の実習室で話を聞き、チョウザメやバナエイエビなどの見学も行いました。

講師の水産高校栽培工学科の町頭先生から、枕崎の海に棲む生き物の話があり、その中でも危険な生物である「ガンガゼ」や「ハオコゼ」「ゴンズイ」など、触ってはいけない危険な生き物に注意して、大人と一緒に楽しい磯遊びをしようとの話がありました。

その後の校内見学ではチョウザメを直接触る子供たちも。また、実技講習として、溺れた人を助けるためのペットボトルとロープの投げ方などの体験活動も行いました。



～六月灯の灯籠を作って神社に奉納～ 金山地区公民館

金山地区の「大山祇神社（おおやまつみじんじゃ）」は、通称「金山神社」と呼ばれ、毎年7月第4土曜日の六月灯には子供たちが灯籠を奉納し、地域総出のお祭りで賑わいます。

昨年はコロナ禍で、六月灯のお祭りも灯籠の奉納でも行おうということになりました。

6月26日には金山地区公民館の青少年講座で、小学生4人が大人と一緒に六月灯の灯籠づくりを行い、7月24日の六月灯には大山祇神社に灯籠の奉納を行いました。

